

介護職員初任者研修カリキュラム及び日程表

研修期間 令和7年5月14日～令和8年3月23日

項 目	通学日時（時間）	実施 場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
			[番号] 氏名	要	
1. 職務の理解【基準時間6時間（うち通信上限0時間）】					
多様なサービスの理解	5月14日 5月28日	8:55~9:45 13:30~14:20 8:55~9:45 (3時間)	南稜 高校 16人	[16] 福島俊也 [18] 小松ユキ子	セ (1) 介護職員初任者研修とは (2) 介護保険サービス (3) 介護保険外サービス
介護職の仕事内容 や働く現場の理解	5月21日 5月28日	9:55~11:45 13:40~14:30 (3時間)	〃	[11] 那須弘紹 [16] 福島俊也 [18] 小松ユキ子	(1) 介護職の仕事内容 (2) 実際のサービス提供現場 (3) ケアプランの位置づけと業務の流れ
小 計	6時間				
2. 介護における尊厳の保持・自立支援【基準時間9時間（うち通信上限7.5時間）】					
(1) 人権と尊厳を支える介護	7月9日 7月16日 9月3日	9:55~11:45 9:55~10:45 9:55~11:45 (5時間)	南稜 高校 16人	[12] 早川 麻美 [16] 福島俊也 [18] 小松ユキ子	サ セ (1) 人権と尊厳の保持 (2) ICF (3) QOL、ノーマライゼーション (4) 虐待予防・身体拘束禁止 (5) 個人の尊厳を守る制度
(2) 自立に向けた介護	7月16日 9月10日 9月17日	10:55~11:45 9:55~11:45 9:55~10:45 (4時間)	〃	[16] 福島俊也 [18] 小松ユキ子	セ (1) 自立支援 (2) 介護予防の考え方
小 計	9時間				
3. 介護の基本【基準時間6時間（うち通信上限3時間）】					
(1) 介護職の役割、専門性 と他職種との連携	6月4日 6月11日	9:55~11:45 9:55~10:45 (3時間)	南稜 高校 16人	[16] 福島俊也 [18] 小松ユキ子	セ (1) 介護環境の特徴の理解 (2) 介護の専門性 (3) 介護に関わる職種
(2) 介護職の職業倫理	6月11日	10:55~11:45 (1時間)	〃	[16] 福島俊也 [18] 小松ユキ子	セ (1) 専門職の倫理の意義 (2) 介護の倫理 (3) プライバシーの保護 (4) 地域社会における介護職の役割
(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	6月18日	9:55~10:45 (1時間)	〃	[16] 福島俊也 [18] 小松ユキ子	セ (1) 介護における安全の確保 (2) 事故予防・安全対策 (3) 感染対策
(4) 介護職の安全	6月18日	10:55~11:45 (1時間)	〃	[16] 福島俊也 [18] 小松ユキ子	セ (1) 介護職の心身の健康管理 (2) 介護職に起こりやすい健康障害とその予防 (3) ストレスマネジメント
小 計	6時間				

項 目	通学日時（時間）	実施 場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
			【番号】 氏名	要 件	
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携					
【基準時間9時間（うち通信上限7.5時間）】					
(1)介護保険制度	9月24日 10月1日	9:55~11:45 9:55~11:45 (4時間)	南稜 高校 16人	[3]権頭重賢 [16]福島俊也 [18]小松ユキ子	エ セ (1)介護保健制度創設の背景および目的・動向 (2)仕組みの基礎的理解 (3)制度を支える財源、組織・団体の機能と役割
(2)医療との連携 とリハビリテーション	11月19日	9:55~11:45 (2時間)	〃	[17]岩崎智代 [16]福島俊也 [18]小松ユキ子	キ セ (1)医療行為と介護 (2)医療看護との連携、リハビリテーション
(3)障害者自立支援制度およびその他制度	11月26日 10月22日	9:55~11:45 8:55~9:45 (3時間)	〃	[4]山本 良 [16]福島俊也 [18]小松ユキ子	サ チ セ (1)障害者福祉制度の理念 (2)障害者自立支援制度の仕組みの基礎的理解 (3)個人の権利を守る制度の概要
小 計	9時間				
5. 介護におけるコミュニケーション技術					
【基準時間6時間（うち通信上限3時間）】					
(1)介護における コミュニケーション	10月22日 10月29日 11月5日	13:30~14:20 9:55~11:45 9:55~10:45 (4時間)	南稜 高校 16人	[16]福島俊也 [18]小松ユキ子	セ (1)コミュニケーションの意義・目的・役割 (2)コミュニケーションの技法 (3)利用者・家族とのコミュニケーションの実際 (4)利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの実際
(2)介護における チームのコミュニケーション	11月5日 12月10日	10:55~11:45 9:55~10:45 (2時間)	〃	[16]福島俊也 [18]小松ユキ子	セ (1)記録における情報の共有化 (2)報告 (3)コミュニケーションを促す環境
小 計	6時間				
6. 老化の理解					
【基準時間6時間（うち通信上限3時間）】					
(1)老化に伴うこころとからだの変化と日常生活	5月15日 5月19日	14:30~15:20 9:35~10:45 (2時間)	南稜 高校 16人	[16]福島俊也 [18]小松ユキ子	セ (1)老年期の発達と老化に伴う心身の変化 (2)老化に伴う心身の機能の変化と日常生活
(2)高齢者と健康	5月22日 5月26日 5月29日 6月2日	14:30~15:20 9:55~10:45 14:30~15:20 9:55~10:45 (4時間)	〃	[16]福島俊也 [18]小松ユキ子	セ (1)高齢者の疾病と生活上の留意点
小 計	6時間				
7. 認知症の理解					
【基準時間6時間（うち通信上限3時間）】					

項 目	通学日時（時間）		実施 場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号] 氏名	要 件	
（１）認知症を取り 巻く状況	6月5日	14：30～15：20 （１時間）	南稜 高校 16人	[16] 福島俊也 [18]小松ユキ子	セ	（１）認知症ケアの理念（パーソン センタードケア、認知症ケアの視 点）
（２）医学的側面か ら見た認知症の基 礎と健康管理	6月9日 6月12日	9：55～10：45 14：30～15：20 （２時間）	〃	[16] 福島俊也 [18]小松ユキ子	セ	（１）認知症の概念 （２）認知症の原因疾患とその病態 （３）原因疾患別ケアのポイント、 健康管理
（３）認知症に伴う こころとからだの 変化と日常生活	6月16日 6月19日	9：55～10：45 14：30～15：20 （２時間）	〃	[3]権頭重賢 [16] 福島俊也 [18]小松ユキ子	エ セ	（１）認知症の人の生活障害、心理、 行動の特徴 （２）認知症利用者への対応
（４）家族への支援	6月23日	9：55～10：45 （１時間）	〃	[16] 福島俊也 [18]小松ユキ子	セ	（１）認知症受容過程での援助 （２）介護負担の軽減（レスパイト ケア）
小 計	6時間					
8. 障害の理解【基準時間3時間（うち通信上限1.5時間）】						
（１）障害の基礎的 理解	6月30日	9：55～10：45 （１時間）	南稜 高校 16人	[4]山本 良 [16] 福島俊也 [18]小松ユキ子	サ チ セ	（１）障害の概念と ICF （２）障害者福祉の基本理念
（２）障害の医学的 側面、生活障害、心 理・行動の特徴、関 わり支援等の基礎 的理解	7月3日	14：30～15：20 （１時間）	〃	[4]山本 良 [16] 福島俊也 [18]小松ユキ子	サ チ セ	（１）身体障害 （２）知的障害 （３）精神障害 （４）その他の心身の機能障害
（３）家族の心理、 関わり支援の理解	7月7日	9：55～10：45 （１時間）	〃	[16] 福島俊也 [18]小松ユキ子	セ	（１）家族への支援
小 計	3時間					
9. こころとからだのしくみと生活支援技術【基準時間7.5時間（うち通信上限1.2時間）】						
Ⅰ 基本知識の学習（10～13時間）						
（１）介護の基 本的な考え方	7月10日 7月14日 7月17日	14：30～15：20 9：55～10：45 14：30～15：20 （3時間）	南稜 高校 16人	[16] 福島俊也 [18]小松ユキ子	セ	（１）理論に基づく介護
（２）介護に関 するこころのし くみの基礎的理 解	9月4日 9月8日 9月11日 9月18日	14：30～15：20 9：55～10：45 14：30～15：20 14：30～15：20 （4時間）	〃	[16] 福島俊也 [18]小松ユキ子	セ	（１）学習の記憶の基礎的理解 （２）感情と記憶の基礎的理解 （３）自己概念と生きがい （４）適応行動とその阻害要因
（３）介護に関 するからだのし くみの基礎的理 解	9月25日 9月29日 10月2日 10月10日 10月20日	14：30～15：20 9：55～10：45 14：30～15：20 9：55～10：45 9：55～10：45	〃	[16] 福島俊也 [18]小松ユキ子	セ	（１）人体の各部の名称と動きに関 する基礎知識 （２）骨・関節・筋肉に関する基礎 知識、ボディメカニクス

項 目	通学日時（時間）		実施 場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号] 氏名	要	
	10月23日	14：30～15：20 （6時間）				（3）中枢神経、自律神経 （4）自律神経と内部器官 （5）健康チェックとバイタルサイン等
I 計	13時間					
II 生活支援技術の講義・演習（50～55時間）						
（4）生活と家事	11月 6日 11月 17日 11月 20日 11月 25日 11月 27日 12月 8日	14：30～15：20 9：55～10：45 14：30～15：20 9：55～10：45 14：30～15：20 9：55～10：45 （ 6時間）	南稜 高校 16人	[16] 福島俊也 [18] 小松ユキ子	セ	（1）家事と生活の理解 （2）生活援助に関する基礎的理解 と生活支援
（5）快適な居住環境整備と介護	10月 27日 11月 4日	9：55～10：45 9：55～10：45 （2時間）	〃	[17] 岩崎智代 [16] 福島俊也 [18] 小松ユキ子	キ セ	（1）高齢者・障害者特有の居住環境整備 （2）福祉用具に関する留意点と支援方法
（6）整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	5月 20日 5月 27日 6月 3日 6月 10日	13：30～15：20 13：30～15：20 13：30～15：20 13：30～15：20 （8時間）	〃	[16] 福島俊也 [18] 小松ユキ子	セ	（1）整容に関する基礎的知識 （2）整容の支援技術
（7）移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6月 17日 7月 1日 7月 8日 9月 2日	13：30～15：20 13：30～15：20 13：30～15：20 13：30～15：20 （8時間）	〃	[16] 福島俊也 [18] 小松ユキ子	セ	（1）移動・移乗に関する基礎的知識 （2）用具の活用方法 （3）移動と社会参加の留意点と支援
（8）食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	9月 9日 9月 16日 9月 30日	13：30～15：20 13：30～15：20 13：30～15：20 （6時間）	〃	[16] 福島俊也 [18] 小松ユキ子	セ	（1）食事に関する基礎知識 （2）食事をする意味 （3）咀嚼・嚥下のメカニズム （4）食事の環境整備 （5）口腔ケアの定義 （6）誤嚥性肺炎の予防
（9）入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	10月 14日 10月 21日 10月 28日	13：30～15：20 13：30～15：20 13：30～15：20 （6時間）	〃	[16] 福島俊也 [18] 小松ユキ子	セ	（1）入浴、清潔保持に関する基礎知識 （2）羞恥心や遠慮への配慮 （3）全身清拭 （4）目・鼻腔・耳・爪の清潔方法 （5）陰部洗浄 （6）足浴・洗髪
（10）排泄に関連したところとからだのしくみ	11月 11日 11月 18日 12月 9日	13：30～15：20 13：30～15：20 13：30～15：20 （6時間）	〃	[16] 福島俊也 [18] 小松ユキ子	セ	（1）排泄に関する基礎知識 （2）排泄の生理面・心理面・社会的意味

項 目	通学日時（時間）		実施 場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号] 氏名	要	
くみと自立に向 けた介護						(3) トイレの介助の具体的方法 (4) 便秘の予防
(11) 睡眠に 関連したところ とからだのしく みと自立に向け た介護	12月11日 12月18日 1月13日 1月15日	14:30~15:20 14:30~15:20 9:55~10:45 14:30~15:20 (4時間)	〃	[16] 福島俊也 [18]小松ユキ子	セ	(1) 睡眠に関する基礎知識 (2) 安眠のための介護の工夫 (3) 環境の整備 (4) 安楽姿勢、褥瘡予防
(12) 死にゆ く人に関連した ところとからだ のしくみと自立 に向けた介護	1月19日 1月29日 2月5日 2月16日	9:55~10:45 14:30~15:20 14:30~15:20 9:55~10:45 (4時間)	〃	[16] 福島俊也 [18]小松ユキ子	セ	(1) 終末期に関する基礎知識 (2) 終末期ケア (3) 高齢者の自然死と癌死 (4) 臨終の兆候と介護 (5)他職種間の情報共有の必要性
Ⅱ計	50時間					
Ⅲ 生活支援技術演習 (10~12時間)						
(13) 介護過 程の基礎的理 解	12月10日 12月17日 1月14日 1月28日	10:55~11:45 9:55~11:45 9:55~11:45 9:55~10:45 (6時間)	南稜 高校 16人	[16] 福島俊也 [18]小松ユキ子	セ	(1) 介護過程の目的・意義・展開 (2)介護過程とチームアプローチ
(14) 総合生 活支援技術演習	12月16日 1月27日 2月3日	13:30~15:20 13:30~15:20 13:30~15:20 (6時間)	〃	[7] 増田香織 [16] 福島俊也 [18]小松ユキ子	ア セ	(1) 事例による展開
Ⅲ計	12時間					
小 計	75時間					
10. 振り返り 【基準時間4時間（うち通信上限0時間）】						
(1) 振り返り	3月10日	13:30~15:20 (2時間)	南稜 高校 16人	[16] 福島俊也 [18]小松ユキ子	セ	(1) 研修を通して学んだこと (2) 今後継続して学ぶこと (3)根拠に基づく介護についての 要点
(2) 就業への備え と研修修了後にお ける継続的な研修	3月11日	9:55~11:45 (2時間)	〃	[16] 福島俊也 [18]小松ユキ子	セ	(1) 継続的に学ぶべきこと (2)具体的イメージできるような 事業所等における事例
小 計	4時間					
合 計	130時間					

(別紙様式 4)

修了評価						【基準時間 1 時間以上】
項目	通学日時（時間）		実施 場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				【講師番号】氏名	要件	
修了評価	3 月 16 日	9 : 55 ~ 10 : 45 (1 時間)	南稜 高校 16 人	[16] 福島俊也 [18] 小松ユキ子	セ	筆記試験

注 1 「項目」欄には、各科目を細分化した項目名又はその読み替えにより事業者毎に定める項目名を記載する。項目数が多く、欄が足りないときは、適宜追加して記載する。

注 2 講義を通信の方法で行う場合、「通信相当分」欄に、通信で学習する内容に相当する講義時間数（科目毎に別紙 4 に定める時間数を上限とする）を記載する。

注 3 「担当講師」の「番号」及び「要件」欄には、講師一覧表（別紙様式 5）に記載した「番号」及び「講師要件」を転記する。

注 4 「実施内容及び実施方法」欄には、講義及び演習の具体的進め方や時間、実習を行う場合は実習の内容や時間、方法等を記載する。欄内に記載できない場合は、科目毎に別葉に記載する。

注 5 記入欄が不足する場合は、適宜欄を追加し、本様式に準じた様式で記入する。